

甲奴郡酪農婦人部

二月十日 府中産品センター

笑顔あふれる再開

甲奴郡酪農婦人部(部長 陰地光枝)は、府中産品センターで新年会を行い、参加者十三名が集まった。同センターでは、広酪を退職された樽好美子さんの料理「三ノ膳」を戴き、笑顔の再開と楽しく和やかな時間を過ごした。食後は、最近の酪農情勢と二月一日からの広酪の組織体制について説明した。総会日程は四月三日(月)とした。



北広島町酪農団体連絡協議会

二月十七日 NOSA 広島北広島診療所会議室

飼料イネを学ぶ

刈取り・給与等に関心

北広島町酪農団体連絡協議会(会長 西原嘉二)主催の飼料イネ研修会を開催し、会員ら十三名が出席した。研修内容は、「飼料イネの給与」をテーマに、広島県立総合技術研究所畜産技術センターの神田則昭課長(総務部管理課)が説明され、その後、藏崎哲治課長補佐(広酪)が「広酪発酵TMR」を紹介した。

飼料イネに関して、各会員からは「使いやすいラップの開封方法は?」、「WCSとの組み合わせで、相性の良い乾草は?」、「肝蛭はどのくらいでいなくなるか?」などの日々の作業性や給与方法などの質問があった。

その他、飼料イネの刈取時期に関して、「例年、刈取時期の後半になると、イノシシ被害が多発するため、今年開始時期を早めようと思うが早刈りほどの程度大丈夫なのか?」など様々な質問があり、飼料イネへの関心の高さが伺えた。



東城酪農振興会

二月二十一日

リフレッシュハウス東城

搾乳ロボ

事情を聞く

東城酪農振興会(会長 和田慎吾、会員四名)は、新年会を開催し、会員家族や従業員、関係機関等十五名の参加があった。

これに併せて、最近の搾乳ロボットの事情と題して、牛舎レイアウトも含めてコーンズ・エージーの搾乳ロボットの紹介とともに説明を受けた。研修会後は昼食を兼ねて懇親会を行い、新年をともに祝った。

